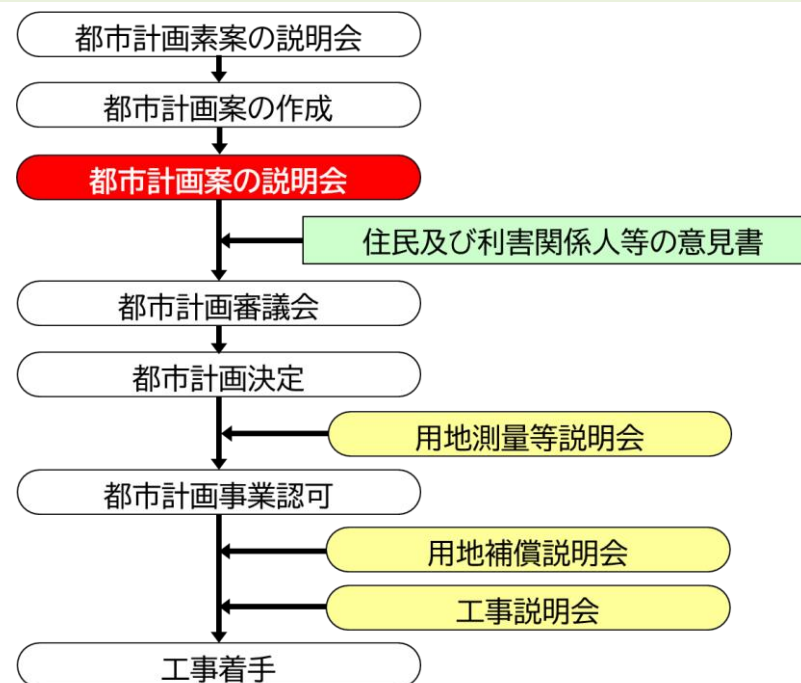


4 今後の予定

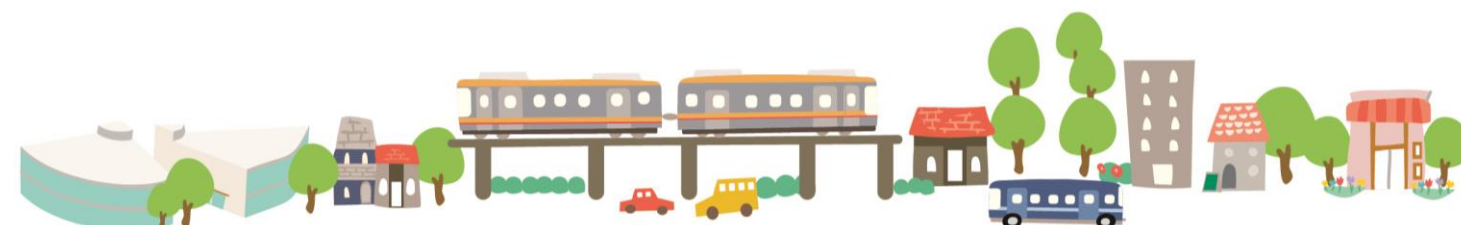


5 位置図



矢川駅南口駅前広場(交通広場)等の 都市計画案について

令和7年10月
国立市



お問い合わせ先

〒186-8501 東京都国立市富士見台 2-47-1
042-576-2111(代)

国立市 都市整備部 都市計画課 都市計画係(内線 361)
sec_toshikei@city.kunitachi.lg.jp
国立市 都市整備部 南部地域まちづくり課 計画整備係(内線 372)
sec_nanbuseibi@city.kunitachi.lg.jp

1 計画のあらまし

本計画は、矢川駅周辺の交通結節機能の強化、安全な歩行環境の確保及び円滑な交通環境の形成等を目的として、JR 南武線の南側に約3,100平方メートルの交通広場を含む延長約240メートルの新たな道路を整備するものです。

国立市では、だれもが安心してまちを歩き、安全で快適な生活を営める「人にやさしいまちづくり」を目指して、JR 南武線の連続立体交差化計画と連携したまちづくりを進めていきます。

※ 一般的に使われる「駅前広場」について、都市計画上の用語は「交通広場」であるため、本パンフレットでは、「交通広場」の用語を使用します。

2 駅前広場の整備方針

駅前広場の整備は、「矢川駅周辺基盤整備計画」で示した「交通広場3つの整備方針」に基づき進めていきます。



矢川駅周辺基盤整備計画
令和6(2024)年3月
国立市

交通広場 3つの 整備方針



だれもが安全で快適に利用できる空間づくり

南北で機能を適切に分担する交通広場
乗り換え利便性を向上させるロータリー
必要な機能や適正な規模を有した交通広場

にぎわいに満ちた魅力ある空間づくり

人々が集い・憩える広場空間
無電柱化を通じ災害時における避難スペースとしての機能
だれもが安心して、快適に利用できるデザイン

周囲と一体となった空間づくり

駅・商店街・周辺施設などとの一体感・連続性
駅周辺の安全な歩行者・自転車動線
広場空間と連続する防災性の高い歩行者空間



3 都市計画案の概要

矢川駅周辺地区の現状を踏まえ、JR 南武線の連続立体交差化計画にあわせて、だれもが利用しやすい駅南口の交通広場と駅周辺にアクセスする道路の整備を計画します。

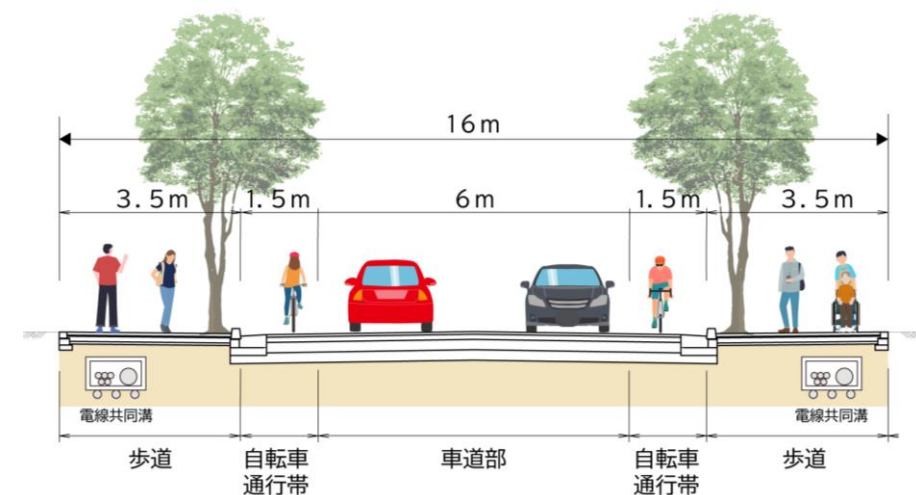
【計画概要図】



【計画概要】

都市計画道路名		国立都市計画道路7・4・1号鷗久保上峯下線
位置		国立市大字石田字鷗久保から国立市大字谷保字上峯下まで
延長		約 240m
構造	車線の数	2車線
	幅員	16m
その他		交通広場の設置 約 3,100 m ²

【幅員 16mにおける横断図】



※幅員構成や整備形態、街路樹などは、今後、関係機関との調整により変更となる場合があります。